

地道に仕事をしています

真誠 PLASTERER



代表 中村 真氏
柏崎市善根6728
Tel.0257-27-2427

昨年11月の終わりに市内善根にある「真誠PLASTERER」代表、中村真さんからお話を伺いました。中村さんは44歳、市内石黒で生まれ、3歳のときに引越されて善根に。現在ご自宅は市内錦町で、善根のご実家が会社の事務所になっています。

まず伺ったことは、会社名。「PLASTERER(プラストーラ)」？英語で「左官」のことだそうです。今は小学生も英語を習う時代なので、時代に合わせて英語にされました。若者から左官業に関心を持ってもらいたい、という意味もあるようです。真誠は「真実・誠実」から。中村さんにお仕事についてのモットーを伺うと「仕事は、大きくはしません。目の届く範囲の仕事をしています。受けた仕事は、責任を持っています。最後までこつこつ、丁寧にする

ことです」社名の通りですね。

「左官は、いっぱしになるまで下積み10年と言われます」と中村さん。最初、修業を兼ねて義兄のタイル屋さんと8年間、次に刈羽の丸山左工さんと14年間勤務後、平成26年に独立されました。現在ご夫婦で仕事をされています。塀や庭などの外構工事や家屋の基礎工事、塗装やタイル貼り、ハウスメーカーの下請けなどをされています。冬は、除雪の応援にも行かれています。

「塗り壁が徐々に流行ってきています。貝殻を細かく砕いた物や火山灰などの自然素材で作られた塗料が見直されています。空気をきれいにする効果があります。風呂場のタイル貼りは減りましたが、玄関・テラスでは増えています」自然・健康志向の住宅様式に変わり、左官業の内容も変わってきています。

また、若手の左官さんが少ないことを心配されています。「大工さん、板金屋さん、内装屋さんには若手がいるが、左官は少ないです。若い人が入るようになります。下積み期間が長いこと、福利厚生が充実していないこと、勤務時間内容が季

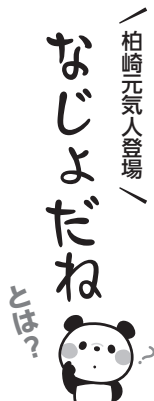
節・天候によって大きく違うことが理由でしょう。冬場は、朝早くからコンクリートをうち、乾くのを待つて仕上げをするので、夜中の12時1時まで仕事が続きます。残業が多くなります。夏場はすぐ乾くから、ご飯も食べずに一気に仕事をします」仕事内容から、左官志望者が少ないのが分かります。「DIYが流行りで素人の方が上手？こちらは、平らに塗ることしか教えられていませんから」などと冗談めいて話されますが、平らに塗る技術を習得するまでの下積み期間は長そうです。

中村さんのご家族は、奥様と愛犬マロン。ご趣味を伺うと、「釣りと犬の散歩。釣り竿貧乏の釣りバカです」1日2回の散歩は中村さんの担



当。コロナ禍になってからは行けないけれど、ご夫婦の楽しみは、愛犬マロンと旅行に行くこととか。車にマロンも乗せ、県外のペット専用のホテルに泊まります。愛犬用の食事がきちんと用意され、犬と一緒に食事。お風呂も脱衣所まで一緒。マロンと同じ部屋で寝ます。

たくましい体つきの中村さんですが、お話をしていると誠実さと優しいお人柄が伝わってきます。「冬場は除雪メインにして、左官の仕事をあまり入れないようにしています」責任を持って仕事を請け負う、職人さんの姿勢をこの言葉からも感じ取られました。(十人衆(馬)・(小)取材)



当紙に掲載している「柏崎元気人登場なじよだね」は、柏崎地域の事業所を取材に行き、代表者の人となりや会社に通じる想い、どのようなお仕事をされているかなどをご紹介するコーナーです。

取材には、商工会議所の会員で、会議所と会員の皆様とのパイプ役として活動を行っている小規模企業振興委員会の中から十名の方より「なじよだね編集委員」を務めていただき、毎月分担任ながら取材・原稿作成を行っています。様々なお仕事で活躍されている会員の方々をご紹介していきますので、ご期待ください。